



いのち支える



いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第39号 (2025.01.09)



いのち支える自殺対策推進センター (JSCP) のニュースレターにご登録いただき、ありがとうございます。本号では、JSCP代表理事の清水康之と内閣官房参与の山崎史郎さんの対談企画や、保健所における自殺対策の支援者支援をテーマに開催した令和6年度「第1回 Zoom コンシェルジュ」の開催レポートなどを掲載しています。

※このメールは、本ニュースレターの配信をご希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信しております。今後メールの受信をご希望されない方は、お手数をおかけし大変恐れ入りますが、[こちら](#)から配信停止手続きのほど、お願いいたします。

<ニュースレター第39号トピックス>

1. 【対談企画】内閣官房参与・山崎史郎×自殺対策実務家・清水康之
2. 【開催レポート】令和6年度「第1回 Zoom コンシェルジュ」を開催
3. 【登壇報告】金融機関向け遺族支援イベントにJSCP職員が登壇
4. 【調査・研究】令和5年度革新的自殺研究推進プログラムの成果報告書等を公表
5. 【申込受付中】自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会を開催
6. 【関連情報】日本自殺総合対策学会「2024年秋季講演会」が開催

1. 【対談企画】内閣官房参与・山崎史郎×自殺対策実務家・清水康之 (JSCP代表理事) 「3割が本気になれば、社会は動く」

<JSCP対談企画第4弾>

介護保険制度の導入に携わり「ミスター介護保険」と呼ばれる元厚生労働官僚の山崎史郎さん。2022年からは内閣官房参与として人口問題などに取り組み、小説『人口戦略法案～人口減少を止める方策はあるのか』（2021年、日本経済新聞出版）を出版するなど、若者が安心して働き、子育てできる社会の実現を訴えています。

一方、自殺対策のNPO法人を立ち上げ、現在JSCPの代表理事を務める清水康之は、増加傾向にあるこどもや若者の自殺を防ぐため、若年層の自殺の実態を明らかにする調査などに取り組んできました。

複数の要因が複雑に絡み合う少子化対策と自殺対策。若者の雇用が大打撃を受けたリーマンショック後、共に政策づくりに取り組んだ旧知の二人が、それぞれの立場から、社会課題解決の鍵となる「自分事化」と行動変容、若者が希望を描ける社会、さらに制度化後の展開や制度を形骸化させずに対策を持続的・発展的に回し続ける「エコシステム」について語り合った対談企画（前編・後編）をお届けします。

(以下、対談の一部を抜粋します)



山崎史郎さん(左)とJSCP代表理事の清水康之(右)

清水 近年、こどもや若者の自殺がとても深刻で、2022年には過去最多である514人の小中高生が亡くなった。そして、昨年も500人を超えている。

日本は先進7か国で10代の自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）がだんごとつで高く、この年代の死亡原因の1位が自殺なのは日本だけだ。日本全体でみると全体の自殺者数は減少してきている中で、逆にこども・若者だけが増えている現状がある。

「全体の数が減っているからよかった」ではなく、潜在的に自殺リスクを抱えたこどもたちが大人になって、そういうリスクを抱えた方たちが社会の中で占める割合が高くなってきていることに、強い危機感がある。

山崎 対策をどう進めるかという点では、“実態の正確な把握”ということがやはり大事ではないか。「自殺実態白書」で自殺の実態が明らかになったことで、当事者というよりも行政の人間がそのことに初めて気づき、関係者が動き出した。こども・若者の場合もそれと同じで、「実態はこうなんです」ということを、行政や学校関係者を含む周囲の人間に広げていくことができれば効果は大きいと思う。対策が進むかどうかは、「自分も変わらなければ」と思う人が何人増えていくかにかかっている。

清水 本当にそうで、まさに「気づき体験」だと思う。何か信念があって自殺対策に取り組まないということではなくて、知らないだけであることが少なくない。

■対談記事の全体は下記（前編・後編）から読むことができます

[【前編】](#) / [【後編】](#)

2. 【開催レポート】令和6年度「第1回 Zoomコンシェルジュ」を開催

JSCPは、2024年7月10日（水）、日本産婦人科医会と協力し【いのちを育む妊産婦の危機～新たな自殺統計項目が明かす自殺の実態～】を作成・公表しました。これは、2022年1月に自殺統計原票の項目改定がなされ、妊娠・産後の状況に関する項目が追加されたことをうけ、日本産婦人科医会の助言の下、JSCPが自殺統計の分析を行い、両者が協働して妊産婦の自殺を防ぐための基礎資料としてまとめたものです。この資料の公表結果を受け、複数の大手メディアが「妊娠中から出産後1年以内に自殺した女性が、2022年から23年の2年間で合わせて少なくとも118人にのぼった」などと報じました。



オンラインで開催されたZoomコンシェルジュのJSCP事務局風景

開催に先立ち、JSCPでは、保健所における市町村に対する支援者支援にかかわる項目として、大きく「情報共有」「人材育成」「個別支援」の3つのテーマに分け、保健所において支援者支援を行う際の課題を把握するための事前アンケートを実施。当日はその結果の概要を説明した上で、各テーマに沿って意見交換しました。

■詳細は[こちら](#)からご覧ください

3. 【登壇報告】金融機関向け遺族支援イベントにJSCP職員が登壇

JSCP自死遺族等支援室の秋田整が2024年11月15日、一般社団法人日本グリーフケアギフト協会が主催する「第6回グリーフケアフォーラム」（後援：金融庁、デジタル庁）に登壇しました。このフォーラムは、グリーフケアの考え方を業務に取り入れている金融機関同士の情報共有を目的に、2019年から毎年開催されているものです。今回は、対面形式とオンライン形式を併用して実施。銀行や生命保険会社などの金融機関を中心に79社から252人が参加しました。

フォーラムでは、JSCPを含む8つの企業や団体が、遺族の視点からの業務改善や地域の複数の金融機関における相続手続きの共通化などについて具体的な事例を発表。JSCPの秋田は、自殺対策の枠組みや金融業界と自死遺族との接点などについて説明するとともに、2024年9月にJSCPが公開した「[自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引（改訂版）](#)」の概要を紹介しました。

金融業界における自死遺族等との接点	
死亡者数	1,576,016人
自殺者数	21,037人（全死亡者数の1.33%）
<small>令和5年（2023）人口動態統計（確定数）</small>	
<遺族と接する機会>	
全般的なもの	
・契約の変更手続（契約者、保険金受取人等）	
・相続	
サービスを提供できないケース	
・銀行、信金、信組等：団体信用生命保険の免責期間内の自殺	
・生命保険：免責期間内の自殺、災害割増特約の自殺	
・損害保険：多くの商品が免責	
例：自動車保険、火災保険、傷害保険、賠償責任保険等	

グリーフケアフォーラムで講演するJSCPの秋田整

■「第6回グリーフケアフォーラム」については[こちら](#)をご覧ください

4. 【調査・研究】令和5年度革新的自殺研究推進プログラムの「委託研究成果報告書」「委託研究最終報告書」「事後評価（総評）」を公表

JSCPでは、科学的根拠（エビデンス）に基づいた政策立案及び社会還元に資する研究を推進するため、自殺総合対策大綱にも明記されている、官民横断型の自殺対策に関する総合的な研究「革新的自殺研究推進プログラム」を実施しています（詳細は[こちら](#)）。

令和5（2023）年度革新的自殺研究推進プログラムでは、前年度から引き続き3領域の16課題で研究が進められ、このたび、その「委託研究成果報告書」を公表しました。併せて令和5年度末で終了した研究課題（5課題）の「委託研究最終報告書」と「事後評価（総評）」も公表していますので、ぜひご覧ください。

《本プログラムの「3つの領域」》

領域1 「子ども・若者に対する自殺対策」（7課題）

領域2 「自殺ハイリスク群の実態分析とアプローチ」（4課題）

領域3 「ビッグデータ・AI等を活用した自殺対策」（5課題）

■ 令和5年度委託研究成果報告書（16課題）は[こちら](#)

■ 令和5年度委託研究最終報告書（終了5課題）は[こちら](#)

■ 令和4年度採択研究課題（令和5年度終了）に対する事後評価（総評）は[こちら](#)

5. 【申込受付中】自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会を開催

JSCPでは、全国の自死遺族等支援団体の皆さま同士が意見交換する場を設け、活動を展開するうえでのヒントにさせていただくことを目的に、2022年度より自死遺族等支援団体向けに研修や意見交換会を開催しています。今年度は、2025年2月1日（土）に「民間団体における自死遺族等支援の課題～改訂された手引の内容を踏まえて～」のテーマで、オンラインにより開催いたします。

当日は、JSCPが2024年9月に公開した「[自死遺族等を支えるために 総合的支援の手引（改訂版）](#)」の内容も踏まえながら、「民間団体と地方公共団体との連携」「人材の確保や育成」「効果的な広報活動」に関するグループディスカッションを実施する予定です。本研修を通じて、参加した皆さまの今後の活動がより充実したものになればと考えております。プログラムの詳細と申し込みは下記のJSCPのホームページをご参照ください。申し込み期限は1月24日（金）です。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

■ 研修の概要は[こちら](#)をご参照ください

■ 申し込みは[こちら](#)からお願いします

6. 【関連情報】日本自殺総合対策学会「2024年秋季講演会」が開催

日本自殺総合対策学会は2024年11月27日、「2024年秋季講演会～“家族という困難”を考える～」をオンラインで開催し、学会員・一般を合わせて468人が参加しました。JSCPはこの講演会を厚生労働省と共に後援しています。

当日は、精神科医の田村毅さん（田村毅研究室代表）による講演「家族葛藤と自殺：精神医療の現場から」、福本啓介さん（社会福祉法人白十字会林間学校 あすなろサポートステーション所長）による講演「社会的養育のもとで育ったこども・若者の18歳以降サポートの現場から」を実施。田村さんは、支援の具体例を紹介し、自殺予防において「安心のつながり」を築くことが重要であると強調しました。福本さんも実際の支援事例を紹介しながら、子どもたちをめぐる環境と支援について語りかけました。

後半のディスカッション・質疑応答の時間では、岡檀さん（統計数理研究所医療健康データ科学研究センター特任准教授、日本自殺総合対策学会理事）がコーディネーターを務め、森丈弓さん（甲南女子大学教授）と渡辺ゆりかさん（草の根ささえあいプロジェクト代表理事、日本自殺総合対策学会理事）がコメントを寄せています。

■レポートの詳細は、日本自殺総合対策学会の[2024年秋季講演会ページ](#)「開催レポート」よりご覧ください

以上

■YouTubeの「JSCP_広報室」チャンネルで、研修動画等を順次公開中

<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■Yahoo!ニュースエキスパートで、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP広報室長・山寺が執筆）

<https://news.yahoo.co.jp/byline/yamaderakaoru>

※ニュースレターは英語版でも配信しています（Newsletter English edition）

<https://jscp.or.jp/english/newsletter/>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



https://twitter.com/JSCP_press

https://twitter.com/JSCP_www